

今年プログラムのメインはムソルグスキー「展覧会の絵」です。

ロシアを代表する作曲家の一人と言っても過言ではない彼の大作に挑戦します。

彼の友人でもあったヴィクトル・ハルトマンの遺作展で見た10枚の絵を音楽で表現したものと言われており、フランス、ポーランド、ロシアなど様々な国の情景が音楽を通して湧き出てくるような作品です。

様々な側面を持つこの作品をどのように表現出来るのか、僕自身も今から楽しみにしています。

ぜひ会場でお会いしましょう!

—— 外山啓介

1984年、札幌市生まれ。5才からピアノを始める。2004年、第73回日本音楽コンクール第1位。併せて増沢賞、井口賞、野村賞、河合賞、聴衆賞を受賞。2006年、東京藝術大学卒業。2008年よりドイツ(ハノーファー音楽演劇大学)留学を経て、2011年、東京藝術大学大学院を修了。

2007年 1月、エイベックス・クラシックスよりCDデビュー。
サントリーホールを始め全国各地で行なわれたデビューリサイタルは完売、新人としては異例のスケールでデビュー。

2008年 7月、2ndアルバムのリリースと同時に、全国13ヶ所でのリサイタル・ツアーを行ない、サントリーホール(東京)、ザ・シンフォニーホール(大阪)などが満席となり、各地で話題となった。

2009年 6月、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団とショパンのピアノ協奏曲を共演。
7月、3rdアルバム「ラフマニノフ」をリリース、「レコード芸術」誌特選盤に選出。

2010年 7月、4枚目のアルバム「幻想ポロネーズ」をリリース。
同時にショパン生誕200年を記念するオール・ショパン・プログラムでのリサイタル・ツアーを各地で実施。
12月31日には「東急ジルベスターコンサート」に出演(テレビ東京系にて全国ネット生中継)。

2011年 6月、過去4枚のアルバムから選曲した『外山啓介BEST』を発売し、全国各地でベートーヴェン・プログラムによるリサイタル・ツアーを実施。

これまでに、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、札幌交響楽団、など多くのオーケストラと共演している。植田克己、ガブリエル・タッキーノ、マッテオ・ラエカリオの各氏に師事。

その繊細で色彩豊かな独特の音色を持つ演奏は、各方面から注目を浴びており、今後最も活躍が期待される若手ピアニストである。

外山啓介オフィシャルサイト keisuke-toyama.com

KEISUKE *Toyama* PIANO RECITAL

〈外山啓介 ピアノ・リサイタル「展覧会の絵」〉全国ツアースケジュール [お問い合わせ] チケットスペース 03-3234-9999

6/24(日) [山梨] 清里高原ハイランドホテル 音楽堂

7/26(木) [名古屋] 愛知県芸術劇場コンサートホール

8/1(水) [東京] サントリーホール

7/ 6(金) [東京] 町田市民ホール

7/27(金) [三重] 鈴鹿市文化会館けやきホール

8/2(木) [北海道] 札幌コンサートホール Kitara

7/14(土) [千葉] 行徳文化ホール I&I

7/29(日) [群馬] 伊勢崎市文化会館小ホール

8/4(土) [大阪] ザ・シンフォニーホール

7/21(土) [静岡] 沼津市民文化センター 小ホール

—— and more!



外山啓介 初のベスト・アルバム!

BEST

絶賛発売中!

収録曲

英雄ポロネーズ(ショパン) / バラード第1番(ショパン) / 舟歌 作品60(ショパン) / 子守歌(ショパン)
ジムノペディ第1番(サティ) / ジムノペディ第3番(サティ) / 夜想曲第2番(フォーレ)
月の光(ドビュッシー) / 垂麻色の髪の乙女(ドビュッシー) / 亡き王女のためのパヴァーヌ(ラヴェル)
パガニーニの主題による狂詩曲(ラフマニノフ) / 前奏曲《鐘》 作品3の2(ラフマニノフ)
練習曲《音の絵》 作品39の5(ラフマニノフ) / 練習曲《音の絵》 作品39の9(ラフマニノフ)

[録音] 2006~2010年 [収録時間] 約72分 AVCL-25735 定価3,000円(税込)